

会 議 要 旨

会 議 名	令和２年度第２回 館山市地域公共交通会議
開 催 日	令和２年１０月９日（金）午後２時～午後３時３０分
開 催 場 所	館山市コミュニティセンター １階展示ホール
出 席 者	[委 員]合計２６名（欠席 ４名） 別紙一覧表のとおり [館山市]合計５名（市長・総合政策部長・企画課長・同副主幹・同係員）
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	３名（定員１０名）
議 事	<p>【議 事】</p> <p>（１）市街地循環バス実証運行のルート案等運行計画について（協議事項）</p> <p>（２）公共交通事業者支援事業補助金の応募・採択状況について（報告事項）</p> <p>（３）南房総・館山地域公共交通活性化協議会 事業進捗状況について（報告事項）</p> <p>【その他】</p> <p>・事業者からの情報提供等</p>
会 議 内 容	<p>開会</p> <p>会長あいさつ</p> <p>議事</p> <p>（１）市街地循環バス実証運行のルート案等運行計画について（協議事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から「資料１～２-３」を用い、以下の内容等について説明。提示した運行計画案について、出された意見を踏まえ、運行事業者や関係団体との協議・検討を行ったのち、事務局側で最終案を確定させ、国に運行認可申請を行うことが承認された。 「資料１」により、運行計画の概要を説明 「資料２-１～２-３」により、ルート案や停留所設置箇所等について説明。 「資料１」により、今後の大まかなスケジュールについて説明。 <p>【質疑・意見等】</p> <p>（室委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な施設に寄れて、楽しいバスになると思う。 ・質問、意見が４点ある。 <p>敷地内まで乗り入れる施設や店舗については、バス停の名称に「前」はつけなくても良いのではないかと。「前」とついていると、店舗の外側にあるイメージなので、施設の名前にして、「前」は取ってしまっても良いと思う。</p> <p>バス停の設置を嫌がる人はいるかもしれないが、店舗によっては、ネーミングライツのように、PRになる、お客さんに来てほしい、是非寄ってほしいなどの</p>

気持ちがあると思うので、実証実験の後になると思うが、(ネーミングライツの考え方を)念頭に置いて話をしてもらえるとスムーズにいくと考える。

運賃について、乗継割引で半額になり良いとは思いますが、せっかく来たから何箇所か行きたいという需要もあると思う。西岬から来ると、館山駅までだけで片道500円くらいかかってしまう。一日乗車券のように、料金を気にせず何回も乗れるようなパスがあると良いと感じた。

運行距離は、北ルート・南ルートともほぼ同じだが停留所数は北ルートの方が少ない。図面を見ると、北ルートの「N6:カインズ館山店」から「N7:八幡神社前」の間が離れている。この区間は途中で薬局等があるため、バス停があるといいかなと思う。

(事務局)

- ・ については、ご指摘のとおりだと思うので、施設に乗り入れる箇所については「前」を取ることを検討する。
- ・ については、実証運行ではなかなか店舗の協賛が難しい部分もあるが、本格運行に向けては検討していきたいと思う。
- ・ については、一日乗車券発行について運行事業者と検討する。
- ・ については、この区間の距離が長いというのはご指摘のとおりだが、当該区間は交通量が多く、途中で停車するのはどうかということがあるため、運行してみて、ご意見等伺いながら本格運行に向けて検討していきたい。

(大沢委員(代理出席))

- ・ 新規バス停設置に当たり、位置が決まり次第道路管理者と協議するという説明があった。新規設置で県道にかかる部分は2箇所だと思うが、かなり道が狭い場所となっている。そのような中、多少位置がずれたりする可能性もあるため、位置が決まってからではなく、事前に相談していただければスムーズに許可手続きができると思うので、よろしくお願いしたい。

(事務局)

- ・ 説明が悪く申し訳ない。道理管理者、警察については、事前に協議させていただきたいと考えている。

(鈴木正一委員)

- ・ バスを使って高齢者が買い物をする場合、買ったものを置くスペースが課題になりそうである。大きいものは買えないと思うが、例えば牛乳2本でも重くなるので、買ったものを置くスペースはあった方が良いと感じた。
- ・ 室委員からも意見が出ているが、フリー乗車券が必要だと感じている。東京に行くとは必ずある。フリー乗車券があれば色々な場所で乗降できて利用価値が上がると思う。
- ・ 高齢者、子ども連れの方・・・様々な人が利用することを考えると、車両は余裕があるものが良いと感じた。利用者アンケート等を通じ検証していただきたい。

(事務局)

- ・ 買い物した荷物を置くスペースの件だが、確かに満員になってしまうと荷物の置き場に困るケースも出てくると思う。運行事業者とも設置可否について検討したい。
- ・ 余裕のあるバス車両の件だが、今回はマイクロバスサイズで運行する。利用状

況が好調なら本格運行の際はもう少し大きなサイズで・・・という話も出るかもしれないが、市役所付近の道が狭く、施設への出入りの際も、大きな車両だと取り回しが難しいケースが発生すると考えられるため、そのあたりも含め検討していきたいと考えている。

(竜崎委員)

- ・今回、日東交通と当社で実証運行を受託することとなった。精一杯頑張るのでよろしくお願いいたします。
- ・「市役所前」バス停について、図面では市役所正面玄関のポーチも使って停車する案になっているが、ポーチ内に止めることは、利用者が輻輳していることもあり、安全上のリスクが高まると考えている。再度検討をお願いできれば。

(事務局)

- ・確かに、ポーチ内は庁舎に出入りする人が常に行き来しており、夕方には三中の生徒が迎えを待つようなケースもあるため、ご指摘のとおり輻輳することが予想される。ポーチ前の軽自動車4台分のスペースを使うなど、危険を排除した形で運行したいと考えている。

(成田委員)

- ・3点質問、意見がある。

「資料1」の運行期間は1月5日～3月5日の合計60日間となっている。多くの人に利用いただきたいと考えているが、生活の中に一度組み込まれたものが急に無くなると困るといった市民の意見が出るのが予想される。60日経過後、一度運行を終了させ、利用状況等の検証を行い、改めてこの会議に諮り、議決後に運行を再開するのか、本日の協議結果によっては事務局が委任を受けたということで、状況によっては90日間に延長し様子を見るなど、期間に関する弾力的な取り扱いを考えているかどうか伺いたい。本日議決された場合、3月5日で終わるということが合意されてしまうため、議決に当たり予め期間について弾力的な運用があるかどうか、事務局の考えを確認したい。

安全運行について。千葉県バス協会会員社の2社が運行するということで既に調整していると思うが、2社の分担、習熟訓練、乗客への案内方法(テープを使うのかどうか)など、色々なことが出てくると思うので、十二分に運行事業者と調整し、運行していただきたい。また、民間商業施設内にバス停を設置する計画は利用者のために良いと思うが、土日等に場内が輻輳した場合、例えば駐車車両が多くバスが敷地内に入れないなど不測の事態への対応についても、予め事業者と運行計画の調整を行うことが安全運行につながると思う。

路線バス 循環バスの乗継割引について、乗継の考え方について、乗客間で不公平が生じないよう、想定される様々なケースについて運行前までに検討したい。具体的には、乗継を証明する方法(乗継券が発行されるのかどうか) 何回まで適用されるのか(3回乗り継いでも割引対象かなど) 降車してから何時間後まで割引が適用されるのかなどが考えられる。こうした運賃の取り扱いのチェックは全て運転者に委ねられることになるが、乗客とのやり取りにおいて、優待証の確認に手間取ったり、誤解が生じ苦情につながる可能性が出てくるとも考えられる。色々なケースを想定し、運行事業者と十分に調整していただきたい。

(事務局)

- ・ については、「60日で一旦運行終了」とする予定である。終了後、運行が無く困ってしまう市民も発生すると思うので、周知徹底でカバーしていきたい。
- ・ については、調整しきれていない部分がある。運行事業者としっかり詰めていきたい。
- ・ の乗継については、日付印を押した乗継券を発行するという事までは考えているが、不公平感が出ないように、また色々なケースに対応できるよう運行事業者と検討していきたい。

(成田委員)

- ・ バス停設置に係る協議に当たっては、市も協議に参画し、運行事業者と歩調を合わせて進めてもらいたいと考えている。

(室委員)

- ・ 3月5日に実証運行が終わった後、こういった基準をもって、どのように検証を行うのか。また、いつ頃本格運行となるのか。結果を検証してから、となると、結構時間がかかるのではないかなと思うが、どうか。

(事務局)

- ・ 運行結果検証については、前回会議で収支率20%を一つの目標に掲げていることを説明した。この数字だけに縛られるということではないが、収支率20%をにらみ、検証を行う予定である。
- ・ 本格運行を実施するとなった場合の運行開始時期は現段階でははっきり申し上げられないが、実施すると決まれば、なるべく早期の運行開始を目指していきたいと考えている。

(2) 公共交通事業者支援事業補助金の応募・採択状況について(報告事項)

- ・ 事務局から当日配布した「資料3」を用い、交通事業者からの補助金応募内容や採択の状況等について報告した。

【質疑・意見等】

- ・ 特になし。

(3) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会 事業進捗状況について(報告事項)

- ・ 「資料4」を用い、事務局から合同協議会の事業内容や今後のスケジュール等について報告した。

【質疑・意見等】

(成田委員)

- ・ 「今後の予定」について、合同協議会は日程未定とのことだが、合同協議会の前に館山市の会議が開催され、その場で合同協議会に関する調整・検討状況等が提示され、館山市の会議で出された意見を踏まえて合同協議会において審議が進められるのか。館山市単独の会議で出された意見と合同協議会での議論をどのように調整していくのか、現時点で方向性等が出ていれば説明願いたい。

(事務局)

- ・館山市単独の会議で意見等が出た場合、全てとはいかないかもしれないが、可能な限り合同協議会での議論に反映させるということで本日の会議でも報告させてもらっている。

(成田委員)

- ・合同協議会の前に館山市単独の会議があるということで良いか？

(事務局)

- ・時期未定だが、次回は合同協議会が開催されることになると考えている。

(成田委員)

- ・2市合同の事務局なので、パブリックコメントとして世の中に出る前に委員に資料が配布するなど、情報提供できないか。

(事務局)

- ・事前に館山市の委員に情報提供を行い、意見を伺う等の対応を検討したい。

その他

委員から以下のとおり情報提供があった。

成田委員(千葉県バス協会)

- ・当日配布した「貸切バスの換気性能」に関するチラシについて説明。
- ・県内の貸切バスは新型コロナウイルス感染症の影響により利用が少ない状況である。
- ・日本バス協会でチラシを発行し、日本全国で換気性能について周知している。
- ・貸切バスは換気性能が優れており、県内ではバス利用者からのクラスター発生は一例も報告されていない。
- ・5分間で換気ができる。
- ・先日、千葉市内で、京成バスの協力により、スモークを用いて換気性能のデモンストレーションを実施。高速バス車両では3分で換気が終わることが分かった。一般路線バス車両は窓が開いている部分等が多く、2分あれば全部換気してしまう状況である。
- ・バス車内でコロナに感染してしまうという不安もあると思うが、バス協会会員事業者では乗務員の体温チェックや手指消毒等も徹底している。飲み物提供やカラオケを中止するなど、万全の体制で臨んでいる。
- ・冠婚葬祭や学校行事含め、貸切バスの利用をお願いできている。
- ・配布したチラシについては、修学旅行も実施できなかった学校があり、父兄の不安も大きいことから、県内の全市町村小中学校、県立高校・中学に配布している。
- ・また、千葉県旅行業協会を通じ、窓口でのバスツアー申込時にはこのチラシを挟み込んで利用者に渡しているほか、大きな旅行会社では換気性能試験のビデオを流している。
- ・県内全市町村の交通担当課に換気性能試験のビデオを送付している。

○竜崎委員(ジェイアールバス関東館山支店)

- ・10月1日付で、東京・新宿ゆき高速バス「なのはな号」のダイヤ改正を実施。
- ・コロナ禍で38往復から22往復に減便して運行中だが、ダイヤ改正による運行

本数の増減はなく、発車時間の等間隔化、東京駅発 2 3 時発最終便を運休にし、2 1 時 4 0 分に繰り上げるなどの変更を行った。

- ・ 1 便あたりの平均利用人数は 1 2 人～ 1 3 人と低迷している。
- ・ 1 0 月からは東京でも「Go To キャンペーン」が開始された。これにより、少しでも利用が増えればと考えている。
- ・ 1 1 月 1 日から、洲の崎線のダイヤ改正を実施する。
- ・ 下校時の西岬小学校経由便は、現在館山駅 1 5 時 2 0 分発の 1 本のみだが、教育委員会からの要請もあり、館山駅 1 4 時 2 0 分発を西岬小学校前経由で運行させる予定。
- ・ コロナ禍で館山駅の窓口を短縮営業している関係で、利用者から「回数券がなかなか買えない」という意見をいただいたため、9 月から乗務員が取り次いで回数券を販売するサービスを開始した。小さなことだが、少しでも利用しやすい環境にしていければと考えている。

平野副会長（日東交通）

- ・ 1 0 月 1 日から、館山日東バスがグループ再編の中で日東交通と合併した。
- ・ 数年前から計画していたことで、今後も進展する少子高齢化の中、5 年後、1 0 年後を見据え、路線バスを維持するために、日東グループが一元化し、経営基盤を強化して安定的な運行を行う目的で再編を実施した。
- ・ 日東交通は元々館山に本社があり、平成 6 年に当時の経営判断で分社化した。今回、再度一元化を行った。
- ・ 今回の合併により、運賃や路線の変更は無い。

中村委員（館山商工会議所女性会）

- ・ 先ほど、循環バスの試乗会に参加した。
- ・ 市役所の玄関前に停留所ができるというのは素晴らしいことだと思う。真倉や青柳などの高齢者にとって、バスに乗って行き来できるというのは本当に良いことだと思う。

【事務局から】

- ・ 会議要旨についてはまとまり次第送付するので、内容確認をお願いしたい。
- ・ 次回会議の日時は未定。決まり次第ご連絡させていただく。

閉会